

第1479号

AFN-1479

Timely

1994年1月17日創刊 毎週発行
葵総合経営センターだより週刊版

2023年 9/4 (月)

『こころとからだの二刀流目指す R5年度全国労働衛生週間』

厚生労働省は全国労働衛生週間を実施する。今年のスローガンは一般公募で選ばれた「目指そうよ二刀流 こころとからだの健康職場」だ。全国労働衛生週間は昭和25年以降、国民の労働衛生に関する意識の高揚、事業場における自主的労働衛生管理活動を通じた労働者の健康確保のために毎年開催されており、今年で74回目となる。9月1日から9月30日までが準備期間、10月1日から10月7日まで

が本週間となる。各職場での巡視やスローガンの掲示、労働衛生に関する講習会、見学会の開催などが予定されている。



近年、過重労働による健康障害や精神疾患の増加など、職場における健康確保の重要性が高まっている。新型コロナウイルス感染症を除いた労働災害は令和4年に死亡者数774人で過去最少となったものの、休業4日以上死傷者数は132,355人(対前年比1,769人増)となり、過去20年で最多となった。高年齢労働者の増加に伴い、転倒・腰痛災害も増加傾向にある。我が国では、労働人口の約3人に1人が何らかの疾病を抱えながら働いているとされている。労働力人口の減少が叫ばれる中、職場においてはこころとからだの両面の健康を維持しながら働ける環境が必要となっている。

『女性管理職割合、平均9.8% 過去最高も1割に届かず』

帝国データバンクは「2023年の女性登用に対する企業の意識調査」結果を発表した。それによると、女性管理職割合の平均は9.8%で、13年の調査開始以降で過去最高を更新した。しかし、前年からの上昇幅は0.4ポイント増にとどまり、1割を下回った。女性管理職の割合を規模別に見ると、「小規模企業」が平均12.6%で最も高かった。「中小企業」は10.2%、「大企業」は7.5%で、規模が小さい企業ほど女性管理職割合の平均は高い状況が続いている。女性管理職割合の平均を業界別に見ると、「小売」が18.6%でトップ、「不動産」が16.2%で続いている。

政府が目標として掲げている「女性管理職30%」以上となっている企業は9.8%で、調査開始以降で最高となった。前年比0.3ポイント増となったが、依然として1ケタ台にとどまった。自社の役員(社長を含む)に占める女性の割合は平均13.1%で、前年(12.7%)から0.4ポイント増加し、過去最高となった。一方で、役員が全員男性とする企業は53.0%と依然として半数を超えている。この調査は23年7月18日から31日まで、全国2万7768社を対象に実施、有効回答企業数は1万1265社(回答率40.6%)だった。



出典元:日本中小企業経営支援専門家協会(JPBM) ※本記事・内容の無断転載を禁じます

21世紀を創造する中小企業のベストパートナー

〒460-0012 名古屋市中区千代田三丁目14番22号

葵総合経営センター

(葵総合税理士法人)

TEL : (052) 331-1768 FAX : (052) 332-5282

『Homepage』 <http://www.aoi-cms.com/> 『e-mail』 aoi@aoi-cms.com